

この星に、たしかな未来を。

Dramatic Technologies

 **三菱重工**

株主通信

レポート 2007.6



証券コード 7011

株主の皆様には、平素より格別の御支援、御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、株主の皆様へ向けた情報誌「株主通信」を新たに発刊いたしました。

この冊子は、株主の皆様との信頼関係を築くために、当社の事業トピックスや財務情報をわかり易くお伝えすることを目的としております。

この「株主通信」が、当社に対する御理解を深めていただく一助となれば、幸いです。

株主の皆様におかれましては、従来にも増して御理解、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

取締役会長 **西岡 喬**
 取締役社長 **佃 和夫**



取締役会長 西岡 喬
 取締役社長 佃 和夫

目次

- ごあいさつ 1
- 平成18年度 決算ハイライト 3
- 会社概要 4
- 事業情報
- 船舶・海洋部門 5
- 原動機部門 6
- 機械・鉄構部門 8
- 航空・宇宙部門 9
- 汎用機・特殊車両部門 11
- 冷熱部門 13
- 産業機械部門 14
- 海外拠点情報 15
- 社会貢献活動 17
- 工場見学会のお知らせ 18

◆表紙絵画

グラバー園から臨む長崎造船所



◆ホームページアドレス

<http://www.mhi.co.jp>

(注意事項)

本資料に掲載されている業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。したがって、この業績見通しにのみを依拠して投資判断をくだすことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2006事業計画推進状況

当社は現在、「確固たる収益力の構築」を目指した、2006事業計画(3カ年の中期経営計画)を推進しています。

2006事業計画の1年目にあたる平成18年度は、収益の柱となる原動機、航空・宇宙、汎用機・特殊車両といった伸長事業の強化・拡大のための積極的な設備投資や営業・生産拠点の増強等を実施するとともに、成熟事業である一部製品の競争力強化を図るための諸施策についても実施いたしました。

同時に、平成17年度より2年間にわたってあらゆるコストの低減や生産性向上に取り組んだ全社活動「アクション05」の成果も現れ、平成18年度は、当初の見通しを超過達成することができました。

引き続き平成19年度は、コーポレート部門と事業部門が一体となって「アクション07」活動を展開し、伸長部門を中心に経営資源を集中するなど諸施策を着実に推進することにより、全社一丸となって2006事業計画の達成に向けて邁進いたします。

2006事業計画(平成20年度目標)

受注 3兆円 売上 3兆円 営業利益 1,200億円



副社長執行役員 江川 豪雄
 副社長執行役員 大宮 英明

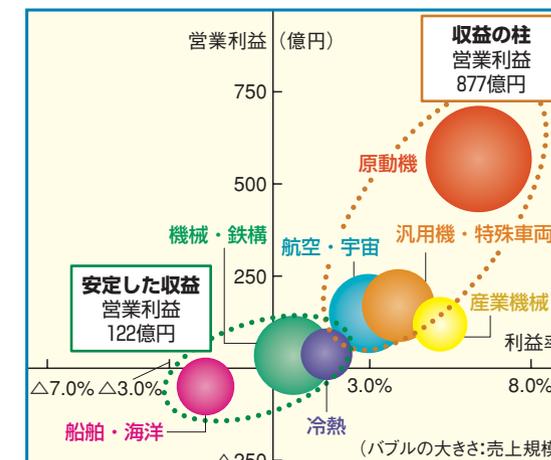
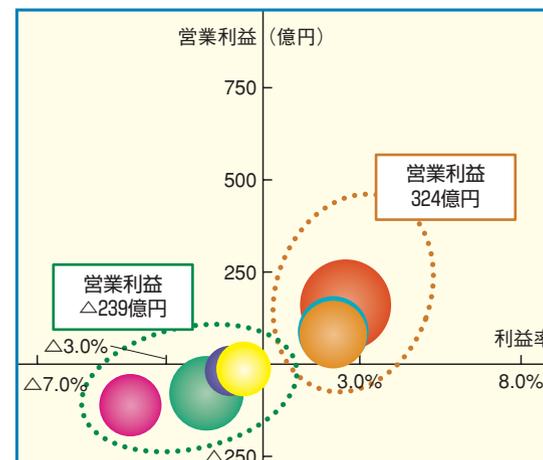


常務執行役員 菅 宏
 常務執行役員 青木 素直
(経理、資金及び資材担当) (技術本部長及び情報システム担当)

2006事業計画推進による収益構造の変化 — セグメント別 売上・利益 —

平成16年度
(アクション05
 スタート前年度)
 売上 25,907億円
 営業利益 147億円
 営業利益率 0.6%

平成18年度
 売上 30,685億円
 営業利益 1,089億円
 営業利益率 3.5%



収益の柱：原動機、航空・宇宙、汎用機・特殊車両

平成18年度 決算ハイライト

平成18年度連結決算 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

連結経営成績

◆ポイント：受注・売上・利益ともに前年度を上回る

受注：原動機、航空・宇宙、汎用機・特殊車両部門の伸長事業を中心に好調。

売上：近年の好調な受注状況を反映し、機械・鉄構部門を除く各部門で増加。

利益：売上増、円安の影響、その他採算改善活動の推進により、前年度を上回る利益水準。

	平成18年度 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)	平成17年度 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)	対前年度 増減率	平成19年度見通し (平成19年4月1日～平成20年3月31日)
受注高	32,747 億円	29,420 億円	11.3 %	33,000 億円
売上高	30,685 億円	27,921 億円	9.9 %	31,000 億円
営業利益	1,089 億円	709 億円	53.6 %	1,150 億円
経常利益	830 億円	503 億円	64.9 %	900 億円
税金等調整前当年度純利益	837 億円	523 億円	59.8 %	900 億円
当年度純利益	488 億円	298 億円	63.8 %	540 億円
1株当たり当年度純利益	14.56 円	8.85 円	64.4 %	16.09 円

(注) 持分法投資損益

平成18年度 8,662百万円 平成17年度 2,055百万円

連結財政状態

◆ポイント：1株当たり純資産が増加

純資産は、当年度純利益及びその他有価証券評価差額金の増加等により、前年度末から701億円増加。

	平成18年度末	平成17年度末	対前年度増減
総資産	43,918 億円	40,471 億円	3,447 億円
純資産	14,464 億円	13,762 億円	701 億円
自己資本比率	32.5 %	34.0 %	△ 1.5 %
1株当たり純資産	425.54 円	410.15 円	15.39 円

(注) 純資産額の算定にあたり、平成18年度から、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

連結キャッシュ・フローの状況

◆ポイント：フリー・キャッシュ・フローの好転

営業キャッシュ・フロー：税金等調整前当年度純利益が前年度から増加したこと等により、847億円増加。

投資キャッシュ・フロー：民間航空機をはじめとした積極的な設備投資を反映し、前年度から545億円増加。

フリー・キャッシュ・フロー：上記 営業、投資キャッシュ・フローの結果、前年度から302億円増加。

	平成18年度 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)	平成17年度 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)	対前年度増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,587 億円	739 億円	847 億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,586 億円	△ 1,040 億円	△ 545 億円
フリー・キャッシュ・フロー	0 億円	△ 301 億円	302 億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	487 億円	79 億円	407 億円
現金及び現金同等物期末残高	2,275 億円	1,762 億円	513 億円

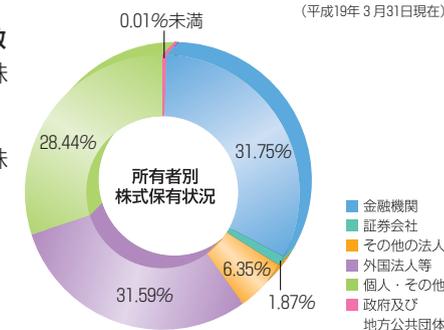
会社概要

概要

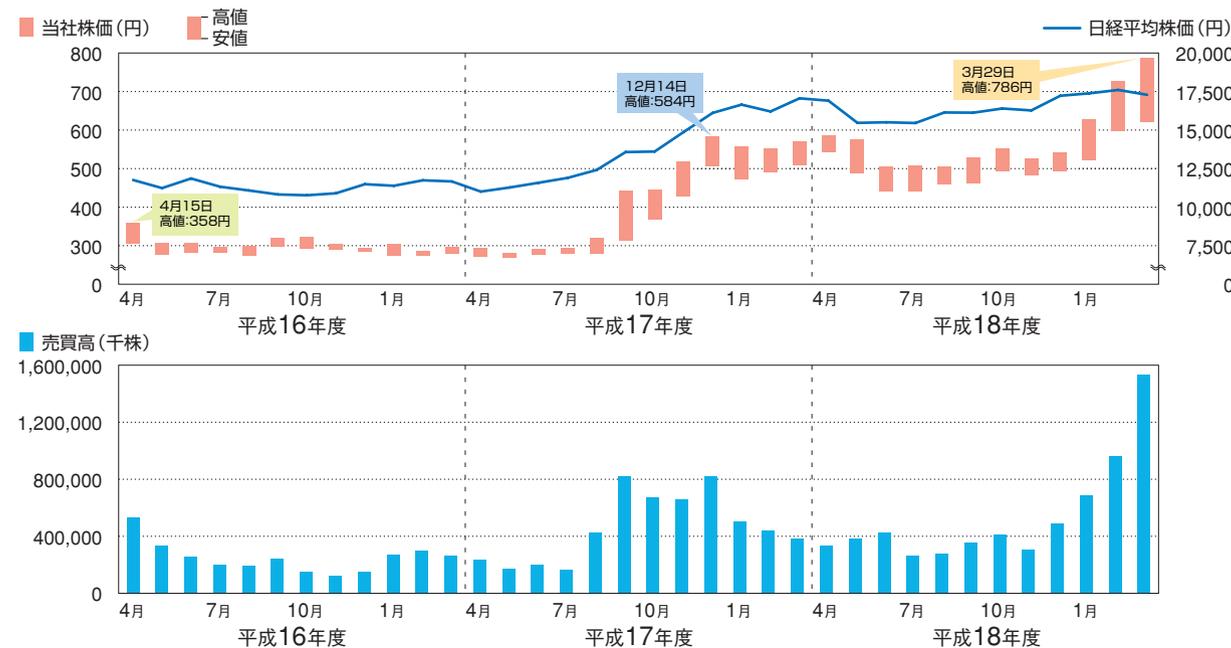
社名 三菱重工業株式会社
 本社 東京都港区港南二丁目16番5号
 〒108-8215 ☎03-6716-3111
 創立 明治17年7月7日
 設立 昭和25年1月11日
 資本金 265,608百万円(平成19年3月31日現在)
 従業員数 32,552名 連結：62,940名
 (平成19年3月31日現在)
 ホームページ <http://www.mhi.co.jp>

株式の状況

発行可能株式総数 6,000,000,000株
 発行済株式総数 3,373,647,813株
 株主数 290,843名



株価・売買高の推移



配当の状況

	1株当たり配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間
平成17年度	—	4 円	4 円
平成18年度	3 円	3 円	6 円
平成19年度(予想)	3 円	3 円	6 円

船舶・海洋部門

	受注	売上	営業利益
平成18年度	3,142億円	2,471億円	△53億円
平成19年度見通し	3,100億円	2,700億円	20億円

- 主要製品
- 新造船 (LNG船, LPG船, コンテナ船等)
 - 修繕・改造船工事
 - 海洋構造物
 - 海洋開発機器
 - 技術サービス・各種自動化システム



船舶・海洋事業本部長
飯島 史郎



コンテナ船 EVER SUPERB



LNG船 ARCTIC LADY

活動状況

・新造船需要が過去最高の水準に達し、市場が活況を呈している中、LNG船、LPG船、コンテナ船、自動車運搬船、フェリー等の高付加価値船を中心に受注活動を展開しています。

ここが知りたい Q & A

- Q.新造船の市場動向は？
- A.今まで最高だった昭和48年の発注量を超えて過去最高を記録しています。一般的にはマーケットの活況が暫らく続くと予想しています。
- Q.生産性向上の手は何か打っていますか？
- A.長崎造船所では新たに1,200tクレーンを配置し、既存ドックの効率的活用による向上を図っていきます。
- Q.中国・韓国造船メーカーに対抗していくために、どのような手を打っていますか？
- A.3次元CAD活用などデジタルデータを取り入れた設計・生産に積極的に取り組んでいます。ものづくりプロセスと開発技術力の面で他社に差をつけていきます。

TOPICS

大型LNG船2隻を受注

昨年7月、日本郵船(株)と三井物産(株)の合弁会社からMOSS型LNG船2隻を受注しました。この船はMOSS型球形タンクを4基搭載した145,000m³の容量を持つ大型LNG船で、平成21年度に引き渡す予定です。今回の受注により、当社が特に注力している大型LNG船の手持ちの受注隻数は12隻(平成19年3月末現在)となりました。

原動機部門

	受注	売上	営業利益
平成18年度	10,082億円	8,907億円	567億円
平成19年度見通し	10,350億円	9,600億円	550億円

◆原動機事業本部

- 主要製品
- 火力発電プラント/コンバインドサイクル発電プラント
 - 地熱発電プラント
 - 太陽電池
 - 船用機械
 - 海水淡水化プラント
 - 定置用ディーゼル・ガス機関
 - 風力発電設備(風車)
 - 燃料電池
 - 船用ディーゼル
 - ポンプ・水車



原動機事業本部長
福江 一郎

活動状況

・火力発電プラント/コンバインドサイクル発電プラントは、需要が堅調なアジアを中心に受注活動を展開しています。

・風車、太陽電池は、生産能力を増強し、急増する需要に対応していきます。

ここが知りたい Q & A

- Q.主力製品であるガスタービン・コンバインドサイクルの強みは何ですか？
- A.発電効率の高さと、プラント建設後のきめ細かいサービス体制です。また、ガスタービン単体売りばかりではなく、プラント一括受注を得意としています。
- Q.ガスタービンの生産拠点はどこですか？
- A.主な拠点は、国内では、高砂製作所(兵庫県高砂市)です。海外では、中国の三菱重工東方ガスタービン(広州)等があります。
- Q.風車・太陽電池といった自然エネルギーへの取り組みは？
- A.市場が急拡大しており、積極的に設備投資を行っています。将来的には、風車・太陽電池それぞれの年間売上が1,000億円を超える事業に成長すると期待しています。



ブエナビスタ・プロジェクト風力発電設備(米国)



ガスタービン M501G型

TOPICS

中国における高炉ガス焼きガスタービン受注好調

本年3月、中国の大手鉄鋼会社である太原鋼鉄(集団)有限公司から高炉ガス焼きガスタービン・コンバインドサイクル発電プラントを受注しました。この発電プラントは、製鉄所内の高炉及びコークス炉から発生するガスを有効利用して製鉄所内で必要とされる電力の一部を賅うものです。当社製の高炉ガス焼きガスタービンは世界シェアの約70%を占めています。

原動機部門

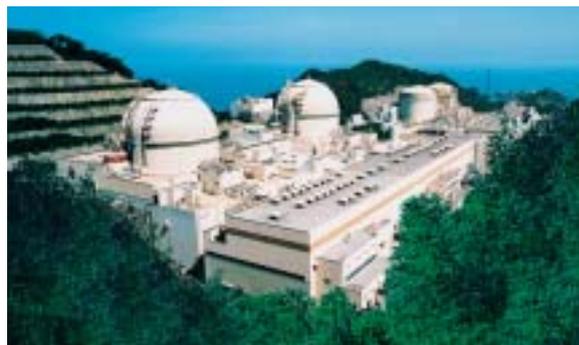
◆原子力事業本部

主要製品

- 原子力発電プラント
- 新型炉プラント
- 原子燃料
- 原子燃料サイクルプラント



原子力事業本部長
浦谷 良美



関西電力 大飯発電所

活動状況

- ・北米市場を中心に、独自技術の世界戦略炉であるUS-APWR (170万kW級) の販売を加速しています。
- ・仏AREVA社と110万kW級原子力発電設備の共同開発を推進しています。
- ・FBR (高速増殖炉) 開発の中核企業に選定され、エンジニアリングを一括して取りまとめる新会社の設立を進めています。
- ・国内軽水炉アフターサービス工事の予防保全提案を積極的に行っています。

ここが知りたい Q & A

Q.三菱重工が建設している原子力発電設備のタイプは？

A.国内の電力会社で採用されている原子力発電設備は、加圧水型軽水炉 (PWR) と沸騰水型軽水炉 (BWR) の2種類です。当社はPWRを扱っており、国内の全てのPWRを建設しています。

Q.北米市場への取り組み方針は？

A.北米は発電所の新規建設需要が期待される地域です。当社は、US-APWRという世界最大級の出力となる170万kW級の原子力発電設備で、商談に取り組んでいます。

Q.仏AREVA社との共同開発のスケジュールは？

A.初期概念設計は6月に終え、7月から共同設計に着手し、2～3年のうちに許認可申請を終え市場投入いたします。

TOPICS

米国テキサス電力が US-APWR 2基の採用を決定

当社が米国向けに市場投入を進めている世界最大級 (170万kW) の原子力発電設備であるUS-APWRが、米国テキサス電力で計画の中規プラント建設に採用されることが決定しました。US-APWRは、世界最高レベルの熱効率 (39%) やプラント建屋容積の約20%低減、さらに24カ月連続運転の実現などにより、大幅に経済性が向上した発電設備となっています。



US-APWR
原子力発電設備
(イメージ図)

機械・鉄構部門

	受注	売上	営業利益
平成18年度	4,690億円	5,116億円	29億円
平成19年度見通し	4,700億円	4,700億円	70億円

主要製品

- 交通システム
- 化学プラント
- 風力機械
- 製鉄機械
- 自動車関連製品
- 半導体・FPD関連
- 環境装置
- 一般機械
- 鉄構製品
- 立体駐車場



機械・鉄構事業本部長
高岡 力

活動状況

- ・交通システムは、伸長する中東、アジア、米国の市場に注力しています。
- ・化学プラントは、メタノール、肥料プラント等大型案件に注力しています。
- ・風力機械は、拡大するLNG等ガス分野に注力しています。
- ・照明用有機EL、自動車関連製品など新事業育成を推進中です。

ここが知りたい Q & A

Q.交通システムとは何ですか？

A.車両、信号、運行管理システム、受変電設備、軌道設備などを含む鉄道システム全体を指します。これまで、フィリピン/マニラLRT 3号線、シンガポール/チャンギ国際空港APM等に納入実績があります。

Q.多数ある製品の選択と集中を進めていく中で、分社化や関連会社への事業移管によるメリットは？

A.事業の規模に応じた組織にすることで、事業運営の効率化が図れます。

Q.5月に新聞報道された照明用有機ELパネルの事業化の見通しは？

A.年内にサンプルパネルの出荷を行います。事業性があると判断した場合、早期の事業化を目指します。

※照明用有機EL：

有機ELは電気を流すと自ら発光する樹脂の一種。厚さを数ミリにでき、消費電力を大幅に減らせることを特長としており、次世代照明として期待されています。



CO₂回収プラント (マレーシア)



ETC車載器 MOBE-400

TOPICS

ドバイ都市交通システムの第2期工事を受注

当社を含む5社連合 (三菱商事 (株)、大林組、鹿島建設 (株)、Yapi Merkezi Insaat Ve Sanayi A.S.) は、アラブ首長国連邦 (UAE) 向けに全自動無人運転鉄道システムの第2期工事を受注しました。第2期工事は受注総額は約1,300億円で、グリーンラインと呼ばれる延長約18kmの路線を建設するものです。



ドバイ新交通システム完成予想図 (イメージ図)

航空・宇宙部門

	受注	売上	営業利益
平成18年度	5,433億円	4,950億円	144億円
平成19年度見通し	5,200億円	4,900億円	130億円

- 主要製品
- 航空機
 - 航空機用エンジン
 - 誘導機器
 - 宇宙機器



航空宇宙事業本部長
戸田 信雄

活動状況

- ・民間機関係は、来年春の航空会社への最終引渡しに向け、ボーイング787旅客機の主翼の出荷を開始しました。また、ロールス・ロイス社と787用エンジンの共同開発も進めています。
- ・宇宙関係は、欧州のアリアンスペース社とのパートナーシップ強化により、H-IIAロケットによる商業衛星打上げ受注獲得を目指しています。
- ・防衛関係は、F-2 支援戦闘機、SH-60K 哨戒ヘリコプタなど主力機種を生産を進める一方で、BMD(弾道ミサイル防衛)システムの整備で中心的な役割を担っています。

ここが知りたい Q & A

- Q.共同開発中のボーイング787の担当部位は？**
- A.当社は、民間旅客機としては世界で初めて採用された炭素繊維による主翼及びエンジン主要部品の生産を担当しています。
- Q.H-IIAロケットの次回の打上げ予定は？**
- A.次回は夏に予定している13号機で、月周回衛星を打ち上げます。
- Q.BMDの担当部位は？**
- A.当社は、現在のペトリオット・システムを弾道ミサイル対応とするための能力向上とPAC-3 ミサイルのライセンス生産に加え、イージス艦に搭載するSM-3 ミサイルの能力向上型を日米共同で開発しています。



ボーイング787旅客機(国際共同開発)



Trent1000ターボファンエンジン(国際共同開発)



SH-60K哨戒ヘリコプタ

TOPICS①

ボーイング787
複合材主翼の初号機を出荷

本年5月、米国ボーイング社の次期主力旅客機787の複合材主翼初号機を名古屋航空宇宙システム製作所大江工場から出荷しました。



787主翼初号機 全景



米国への空輸のため専用貨物機(ドリームリフター)へ積み込まれる787主翼初号機

TOPICS②

H-IIAロケット
6機連続打上げ成功

本年2月、情報収集衛星「レーダー2号」を搭載したH-IIAロケット12号機が、宇宙航空研究開発機構(JAXA)種子島宇宙センターから打ち上げられ、衛星の軌道投入に成功し、今回で6回連続の成功となりました。また、JAXAからの技術移転を受け、本年4月より当社は衛星打上げ輸送サービス事業を開始し、世界の商業衛星打上げビジネスに本格参入します。



H-IIAロケット
提供：JAXA

汎用機・特殊車両部門

	受注	売上	営業利益
平成18年度	4,375億円	4,311億円	166億円
平成19年度見通し	4,500億円	4,500億円	170億円

主要製品

- 物流機器(フォークリフト等)
- エンジン
- ターボチャージャー
- 建設機械
- 特殊車両



汎用機・特車事業本部長
吉田 雄彦

活動状況

- ・フォークリフトは、好景気を維持している中東や需要が拡大しているロシア・南米での販売を拡大します。
- ・エンジンは、南米での船用エンジン、中東での発電セットなど、新興市場での拡販を目指しています。
- ・ターボチャージャーは、更なる拡大が見込まれる欧州需要に対応し、受注に注力しています。

ここが知りたい Q & A

Q.フォークリフトの主な生産拠点はどこですか？

- A.国内では汎用機・特車事業本部(神奈川県相模原市)。海外ではアルメア(オランダ)とヒューストン(米国)です。

Q.エンジンの用途は？

- A.フォークリフトや建設機械といった車両搭載用や、発電機用、船舶用、芝刈機用等もあります。

Q.ターボチャージャーの生産台数計画は？

- A.現在の生産台数は年間約300万台ですが、生産能力増強により、平成19年度中に360万台体制とする予定です。

Q.ターボチャージャーの更なる設備投資の計画はありますか？

- A.ターボチャージャーの需要は拡大しつつあり、今後も受注の規模に応じて、都度、設備投資を行うことを考えております。



ミラーサイクルガスエンジン コージェネレーションパッケージ
GS12R-PTK

TOPICS

大型フォークリフト「praid (プライド) シリーズ」発売

本年2月、業界に先駆けて、第三次排ガス規制に適合した大型フォークリフトを発売しました。低速域での燃料の高圧噴射を可能とした独自の電子制御エンジンを搭載したことで、世界で最も厳しいといわれる第三次排ガス規制にいち早く適合できました。また、徹底した低騒音、低振動と快適な操作環境を実現し、メンテナンス性能も向上しています。



プライド FD135N



自動車用ターボチャージャー



船用ディーゼルエンジン S6RG-MTK

ラグビー | トップリーグへ昇格

三菱重工相模原ラグビー部は、日本ラグビーの最高峰である「ジャパンラグビートップリーグ(TL)」へ昇格しました。

2006年度シーズンは、トッピーストリーグ11で10戦全勝とし、1月27日にTLへの昇格をかけたトップチャレンジシリーズ第2戦の近鉄ライナーズ戦で、千人ものサポーターが見守る中、後半ロスタイムでの劇的な逆転トライによる勝利で、念願のTL昇格を果たしました。

2007年度シーズンは、10月末からスタートし、リーグ戦13試合を全国各地で行います。株主の皆様の熱い御声援を宜しくお願いいたします。

▶ 2007-2008 三菱重工相模原ラグビー部 トップリーグ日程

日 程	キックオフ	対 戦 相 手	試 合 会 場
10月 28日(日)	12:00	九州電力キューデンヴォルテクス	博多の森球技場
11月 3日(土)	14:00	トヨタ自動車ヴェルブリッツ	瑞穂公園ラグビー場
11月 10日(土)	14:00	神戸製鋼コベルコスティーラーズ	近鉄花園ラグビー場
11月 18日(日)	13:00	NECグリーンロケッツ	柏の葉公園総合競技場
12月 1日(土)	14:00	サントリーサンゴリアス	秩父宮ラグビー場
12月 8日(土)	14:00	東芝ブレイブルーパス	秩父宮ラグビー場
12月 16日(日)	14:00	福岡サンニックスブルース	長崎市総合運動公園内陸上競技場
12月 22日(土)	14:00	クボタスピアーズ	秩父宮ラグビー場
1月 5日(土)	12:00	リコーブラックラムズ	秩父宮ラグビー場
1月 13日(日)	14:00	ヤマハ発動機ジュビロ	岐阜メモリアルセンター
1月 19日(土)	12:00	日本IBMビッグブルー	秩父宮ラグビー場
1月 27日(日)	14:00	三洋電機ワイルドナイツ	秩父宮ラグビー場
2月 2日(土)	12:00	コカ・コーラウエストレッドスパークス	博多の森球技場

お問い合わせ先

三菱重工株式会社 汎用機・特車事業本部 総務部 勤労・安全課 ラグビー事務局 電話番号：042-761-2686
8:00~17:00(土・日、祝祭日、当社休日を除く)

観戦御希望の方は、試合当日各会場の入口に設置する「三菱重工相模原ラグビー部」受付まで、右端の観戦御招待引換券を御持参ください。



2007-2008 三菱重工相模原ラグビー部
トップリーグ開幕引換券
本券を三菱重工株式会社まで持参ください。
(同件者3名様まで有効)

冷熱部門

	受注	売上	営業利益
平成18年度	1,974億円	1,985億円	32億円
平成19年度見通し	1,800億円	1,800億円	40億円

主要製品

- 業務用空調機
- 住宅用空調機
- 車両用空調機
- 応用冷機
- 輸送用冷凍機
- 大型冷凍機
- 冷熱プラント



冷熱事業本部長
東間 清信



ビーバーエアコン SIシリーズ



セゾンエアコン FDTシリーズ

活動状況

- ・カーエアコンは、松阪工場の工場増設により、国内外の自動車業界向けに拡販しています。
- ・業務用パッケージエアコンは、タイの合併会社MACO社と中国の合併会社であるMHAQ社へ生産拠点を順次移管し、連結ベースでの最適生産を図り、事業基盤を強化しています。

ここが知りたい Q & A

Q.事業の現況は？

A.家庭用、業務用エアコンは、海外に生産拠点を移管するなど生産体制の再編により競争力が順調についてきています。また、カーエアコンは新商品の投入により事業拡大を図りつつあります。

Q.家庭用、業務用エアコンの主要市場は？

A.日本のほか、市場が伸びている欧州、中国、東南アジアです。

Q.主な生産拠点はどこですか？

A.国内では枇杷島工場（愛知県清須市）、松阪工場（三重県松阪市）、高砂製作所（兵庫県高砂市）。海外は中国・タイ・オランダ・米国・サウジアラビアに生産拠点を持っています。

TOPICS

香港一の超高層ビル向け
ターボ冷凍機出荷

昨年12月末、香港の九龍地区に建設中の超高層ビル「国際貿易センター」へ高効率ターボ冷凍機を6台出荷しました。九龍地区は200m近いビルが林立する世界有数の超高層ビルエリアです。今回の採用は当社のターボ冷凍機の高効率・省エネ性能と優れた制御性が評価されたもので、今後も需要に応じてまいります。



高効率ターボ冷凍機
NARTシリーズ

産業機械部門

	受注	売上	営業利益
平成18年度	2,217億円	2,193億円	114億円
平成19年度見通し	2,400億円	2,200億円	110億円

◆紙・印刷機械事業部

主要製品

- 印刷機械
- 紙工機械
- 製紙機械



紙・印刷機械事業部長
和木坂 史生

活動状況

- ・枚葉印刷機は、コスト競争力の強化を目指して、中国に設立した合併会社での生産を強化しています。
- ・紙工機械は、伸長する北米市場を中心に、高性能製函機「EVOL」の受注が好調です。

ここが知りたい Q & A

Q.紙・印刷機械の生産拠点はどこですか？

A.国内は、広島県三原市にある糸崎工場、古浜工場、和田沖工場の3工場です。海外は中国に生産拠点があります。

◆工作機械事業部

主要製品

- 汎用工作機械
- 専用工作機械
- 歯車工作機械
- 精密切削工具
- エンジンバルブ
- 動力伝導装置



工作機械事業部長
渡部 健

活動状況

- ・汎用工作機械の「MVRシリーズ」、歯車工作機械の「GEシリーズ」はお客様から好評を得ており、受注が好調です。

ここが知りたい Q & A

Q.工作機械の生産拠点はどこですか？

A.本工場（滋賀県栗東市）、京都工場、岩塚工場（名古屋市）と中国、インドの海外生産拠点です。

Q.工作機械のセールスポイントは？

A.歯車工作機械と切削工具の両方を製作している世界でも類のないメーカーです。特に、切削油を使用しないドライカット歯車加工法は、機械と工具の両方を製作しているからこそ成し得た独自の技術です。

◆産業機器関連

- 射出成形機
- 食品機械
- 業務用洗濯機／産業用ロボット

TOPICS

イタリア向けに両面専用枚葉印刷機と
商業用オフセット輪転機をセットで受注

イタリアの大手印刷会社であるグラフィックスカルベ社から、両面専用枚葉印刷機「DIAMOND 3000TP-12」と商業用オフセット輪転機「DIAMOND 16MAX」をセットで受注しました。イタリア向け受注は、今回が初めてです。



DIAMOND 3000TPシリーズ



DIAMOND 16MAX

TOPICS

重切削加工に威力を発揮！
三菱プラノマセン「MVR-DXシリーズ」発売

タービンや建設機械などの大物部品加工に優れた生産能力を発揮する門形五面加工機を開発、本年2月に市場投入しました。



MVR-DXシリーズ

海外拠点情報

当社では、各国に広がる海外事務所・駐在員事務所・海外関連会社が活動を展開しており、全世界のニーズに応えるため、生産拠点・サービスネットワークの拡大を地球規模で進めています。今回は、北・中米の拠点にスポットを当てて、紹介いたします。

北・中米での事業展開

かつては、フォークリフト・カーエアコン・印刷機械・産業用エンジン・射出成形機・紙工機械などの中量産品事業が中心でしたが、平成12年以降は、ガスタービン・交通システム・原子力など、受注品事業のウエイトが高まっています。特に平成17年以降は、風力発電設備（風車）の受注が急拡大していることが特徴です。



海外戦略本部長
齊藤 卓美

● 現地法人
(現地法人の事務所等を含む)
平成19年3月末現在



Mitsubishi Power Systems Americas, Inc. (MPSA)

事業概要

北米の発電設備市場の需要に対応するため、MHIAの発電プラント部門を分離独立させ設立。ガスタービン・コンバインドサイクル、風車等の発電プラントの販売・組立・据付及びアフターサービスを一貫して行っています。また、TPI社(米国FRPメーカー)との合併会社であるVienTek社で風車ブレードを製造しています。 ※FRP：繊維強化プラスチック



VienTek社メキシコ工場



MPSA本社が入居しているビル

沿革	平成13年4月設立
株主	MHIA 100%
資本金	80百万US\$
所在地	本社 オーランド(レークメリー) 事務所 ロサンゼルス, フィラデルフィア サービスセンター オーランド 工場 VienTek社 (MPSA関連会社)

MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES AMERICA, INC. (MHIA)

事業概要

当社の北米事業の中核として、米国、カナダにおける当社製品の販売・組立・据付及びアフターサービスを行っています。

沿革	昭和54年7月設立
株主	当社 100%
資本金	154百万US\$
所在地	本社 ニューヨーク 事業部・事務所 ロサンゼルス, ヒューストン, シアトル, ボストン他8カ所



MHIA本社が入居しているビル



Mitsubishi Caterpillar Forklift America Inc. (MCFA)

事業概要

フォークリフトの海外事業を強化するため、米国キャタピラー社と三菱商事(株)との合併で設立。北・中南米向けに、三菱・キャタピラー両ブランドの小型車の製造・販売を行っています。また、中大型車は汎用機・特車事業本部(神奈川県相模原市)で製造したものを販売しています。



沿革	平成4年7月設立
株主	当社 88% Caterpillar Industrial Inc. 8% 三菱商事(株) 4%
資本金	65百万US\$
所在地	ヒューストン

社会貢献活動

当社では、社業を通じて社会の進歩に貢献するという基本理念のもと、経営の基軸に据えているCSR活動の一環として、地域社会との信頼関係を重視した社会貢献活動を行っています。

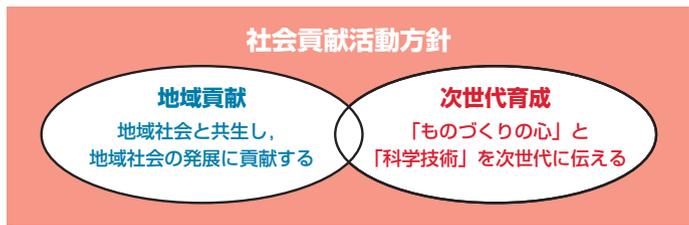
1. 社会貢献活動方針

地域社会と共生し、地域社会の発展に貢献する

当社では、支社・事業所・海外事務所・海外関連会社などの拠点を置いている地域社会と共生し、強固な信頼関係を築いていくことを基本方針としています。そうした考えのもと、国内外の拠点においてそれぞれの地域特性や文化に応じたさまざまな活動を展開し、地域の発展と活性化に貢献していきます。

「ものづくりの心」と「科学技術」を次世代に伝える

当社は、長年にわたって700種類を超す多種多様な製品を開発・製造してきました。その歴史のなかで育ててきた「ものづくりの心」や「科学技術」を次世代に伝え、未来へと継承していくために、子どもたちを招いての実験教室など、さまざまな教育活動に取り組んでいきます。



2. 代表的な社会貢献活動事例

三菱重工チャリティ・コンサート

高砂製作所

平成15年から毎年、著名なアーティストをお招きして、チャリティ・コンサートを開催しています。コンサート収益金は、福祉と文化事業に役立てていただくため、全額高砂市に寄贈しています。平成18年は1,836,031円の収益金が集まりました。



三菱しんせんサマースクール

神戸造船所

平成5年から毎年1回、子どもたちの夏休みに合わせた社会学習・理科研究向けの体験参加型イベント「三菱しんせんサマースクール」を開催しています。これは、地域の小学校高学年生とその保護者を対象にしたもので、工場見学や理科研究向けの科学実験を行っています。

平成18年度で15回目を迎え、累計で3,500人の方々が参加されています。



工場見学会のお知らせ

当社は平成17年から株主の皆様を対象とした工場見学会を開催しております。今回は、去る3月16日、汎用機・特車事業本部（神奈川県相模原市）にて、天候にも恵まれ無事に開催することができました。御好評につき、次回第6回工場見学会を下記のとおり開催いたしますので、多くの皆様の御応募をお待ちしております。

見学会概要

- 見学場所 高砂製作所（兵庫県高砂市）
当製作所は、暮らしや産業の基盤となる電力を支える発電用ガスタービンをはじめ、火力・原子力用蒸気タービン、発電用水車やポンプ等を製作しています。
- 開催日時 平成19年9月14日（金） 14：00～17：00（予定）
- 対象者 当社株主の方（同伴者1名様まで可）
- 集合・解散 JR 加古川駅（北口）（予定）
- 参加費 無料（ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自の御負担とさせていただきます。）



応募要領

- 応募方法 右記のとおり郵便はがきに必要事項を御記入の上、御応募ください。
- 締切日 平成19年7月13日（金）（当日消印有効）
- 募集人数 80名様（同伴者を含む）
※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。
厳正な抽選の上、当選発表につきましては当選者への御連絡（8月中旬発送予定）をもって代えさせていただきます。
その際、当日の運営等詳細を合わせて御連絡いたします。
※御応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。
※御見学時は、バスの乗り降りや階段の昇り降りがあり、1時間程工場内をお歩きいただくこともございますので御了承ください。なお、御高齢の方及び小学生以下の方の御参加の際には、同伴者をお願いする場合があります。

郵便はがき 50円切手 1088215 三菱重工(株) 総務部 文書課 工場見学会係 行	東京都区港区港南 一丁目16番5号
	●郵便番号 ●住所 ●電話番号 ●氏名 （ふりがなを御記入ください。） ●性別 ●年齢 ●同伴者の氏名、性別、年齢、住所

あて名面

裏面

お問い合わせ先

三菱重工株式会社 総務部 文書課 電話番号：03-6716-3111（大代表）
8：45～17：30（土・日、祝祭日、当社休日を除く）

株主メモ

■決算期・・・3月31日

■定時株主総会

開催期・・・6月下旬

■基準日・・・定時株主総会議決権行使株主確定日
3月31日

期末配当金支払株主確定日
3月31日

中間配当金支払株主確定日
9月30日

その他の基準日
上記のほか必要ある場合は、取締役会の
決議によりあらかじめ公告して設定

■公告方法……………電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によ
って電子公告をすることができない場
合は日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告掲載ウェブサイト

<http://www.mhi.co.jp/indexj.html>

■単元株式数……………1,000株

■株主名簿管理人…三菱UFJ信託銀行株式会社

■名義書換取扱場所…東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先及び電話照会先)
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)

■名義書換取次所…三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

株式についての各種手続き

名義書換、住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求・買増請求*及び相続の各種お手続きは、上記名義書換取扱場所及び名義書換取次所において取り扱っております。

なお、各種お手続きに必要な用紙については、以下の電話番号からも御請求いただけます。

*単元未満株式の買増請求は、9月30日及び3月31日から起算してそれぞれ1営業日前から当該日までの間は、お取扱いができませんので、御留意ください。

専用ダイヤル **0120-244-479** (24時間・音声自動応答・通話料無料)

三菱みなとみらい技術館への御招待

三菱みなとみらい技術館は、明日を担う青少年たちが「科学技術」に触れ、夢を膨らませる場になることを願い、平成6年に開設したもので、既に入館者は通算100万人を突破しております。環境、宇宙、海洋、交通・輸送、エネルギー、技術探検をテーマに、普段触れる機会の少ない最先端の科学技術を楽しみながら学んでいただけるよう、来館者参加型の展示になっております。



◆皆様の御来館をお待ちしております。

所在地：横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号
三菱重工横浜ビル内

アクセス：JR線/横浜市営地下鉄「桜木町駅」より徒歩8分
みなとみらい線「みなとみらい駅」

けやき通り口より徒歩3分

休館日：毎週月曜日(但し、月曜日が祝日の場合は翌日)
年末年始及び特定休館日(9月10日～14日)

お問い合わせ先：電話番号 045-224-9031

ホームページ：<http://www.mhi.co.jp/museum/>



三菱みなとみらい技術館御招待券
有効期限：平成19年11月30日
本券を御持参ください。
(同伴者3名様まで有効)

 三菱重工業株式会社



R70
70%再生紙使用

 PRINTED WITH
大豆油インキ使用